

随想68

入院で得たもの 國武 嘉隆（三国が丘2）

ことしの7月末日脳梗塞を再発させた。異常を感じて、8年前からお世話になっている主治医を訪ね、検査の結果「脳幹部梗塞」と診断された。私は、8月15日に東京で行われる全国戦没者追悼式に参列することにしていた。兄達3人を先の戦争で亡くしている。MRIの担当医師は「その参列は無理だ」と述べた。そして、即日入院し1日1リットルほどの点滴による治療が始まった。

8年前の64歳の私は、発病を機会に主治医に病歴等を報告、その後も定期検診時に、日常行動や予定を知らせていた。主治医は全国戦没者追悼式に参列しようとしていることも知っていた。どうやら2週間しかない日程で回復させたいと考えたらしく、看護師を初め、周辺に厳しく管理するよう指示していたらしい。加えて、主治医自身、多忙な務めで身体を休めたいはずの休日に様子を診に来てくれたのには驚いた。

お陰で、東京出発の3日前に退院することができ、天皇、皇后両陛下や、総理大臣を初め多くの方々と戦没者を追悼することが出来たのである。

主治医を初め、病院の懸命の努力と私自身が8年前より体力維持に努めていたことが回復へと結びついたと思う。毎日8kmある花立山の畑までの道のりを歩き、その畑で他家の飼えなくなった鶏などの世話をしてる。このことが、今回の脳梗塞の早期回復に大いに役立ち、日頃から体力をつけておくことが如何に大切かと再認識した入院であった。

次号(2月号)は、大渡剛弘さん(緑)にリレーされます。



まちの話題

遊休地でイモの収穫祭



▲大勢の方々が芋掘りしました。

11月9日(日)に三沢区内の遊休農地でサツマイモの収穫祭が行われました。収穫祭は同区内の区をはじめ農事組合、森林組合、子ども会などで組織する「三沢環境を守る会(会長 中原昭夫同区長)」により行われ、当日は同区内の子どもたちや保護者など約100人が、約四千㎡の農地に植えられたベニサツマを収穫しました。収穫後には三沢会のご婦人方が作った「ふかし芋」を美味しく食べ、帰りにには袋一杯のイモを持って帰りました。

中原会長は「春の苗植えや草取りも子どもたちと一緒に行いました。農地の保全と区民相互の連携に今後とも取り組んでいきたい」と語りました。

全国高校駅伝競走大会出場

12月21日(日)に京都市で開催される第59回全国高校駅伝競走大会に佐賀県立鳥栖工業高校(2年連続34回



▲都大路を走る小西祐也さん(左)と今村斗記さん

で、小西祐也さん(3年・立石中出身)と今村斗記さん(2年・小郡中出身)が出場します。

今年のインターハイや大分国体で6位に入賞している小西さんは全国高校駅伝大会に向けて「第1区で29分台、区間10位以内に入れるように頑張ります」と意気込みを語りました。また、チームでスピードランナーとして成長株の今村さんは「全国の強豪校と走れることに感謝して、区間10位以内を目指して頑張ります」と語りました。

お二人の全国大会でのご活躍を期待します。



あすてらすフェスタ



10月26日、総合保健福祉センター「あすてらす」で、第5回あすてらすフェスタ(第23回小郡市民の健康づくり大会)が行われました。フェスタでは、まちの健康相談室やヘルシー料理バイキングなど食と健康づくりに役立つ各種コーナーをはじめ、ウイルス性肝炎についての市民公開講座、ボランティア紹介コーナーなどが開設されました。直に体験や学習をすることで、子どもから大人まで健康や福祉への理解を深めた一日になりました。

フェスタ当日、健康川柳の受賞作品の発表と授賞式がありました。

《受賞作品》(敬称略)

○小郡市民の健康づくり推進協議会会長特選
ハハハのハ 明るい家庭 医者いらす

○小郡市長特選
遮断機の 前で足踏み 万歩計

○小郡市議会議長特選
健康オタク 酒より高い 水を飲む

○福岡県議会議員特選
健康で 笑が絶えぬ 三世代

○小郡市文化協会・小郡川柳会特選
元気乗せ 100円バスは あすてらす

原 静子(祇園)

野田宇太郎生誕祭



10月26日、松崎の野田宇太郎水鳥詩碑前で、野田宇太郎生誕祭が行われました。

式典は野田宇太郎が愛したコーヒーを供えることから始まり、全国から寄せられた1830の詩の中から、小学生の部1席を受賞した阿南青汰くん(立石小)の「日程」を本人が朗読し、野田宇太郎の遺徳を偲びました。

入賞作品(一席以上)

《小学生の部》阿南青汰くん「日程」(小郡市立立石小学校6年)

《中学生の部》梅津奏子さん「はじまり」(秋田市立飯島中学校1年)

《一般の部》詩村あかねさん「告白」(埼玉県越谷市)

小郡カーニバル

10月26日、生涯学習センターで「行くぞー小郡カーニバル2008」が開催されました。

今年は市内外からスウィーツ店が集まり、スウィーツの祭典が行われ、ケーキ作り教室やチヨコレート講習などの催しが行われました。他にも、子ども達によるダンスパフォーマンス、ジャズの演奏が行われるなど、訪れた人は甘いひと時を過ごしました。



まちの話題

おごおり物産展

11月2日、総合保健福祉センター「あすてらす」駐車場で「おごおり物産展」が開催されました。地元で採れた野菜や果物、鴨ごはんや呼子の海産物が並び、多くの買い物客で賑わいました。うごんを食べる家族連れも見られ、小郡の味を堪能する一日になりました。



図書館へ寄贈



▲中村元太センター長(左)と清武教育長

10月31日、ダウ・ケミカル日本株式会社(本社:東京)小郡開発センター(中村元太センター長)から市立図書館へ50万円相当の図書が贈られました。化学製品の製造・輸入販売を行うダウ・ケミカル社は事業所を置いている市町村に寄付を行っており、小郡市では平成12年から毎年続いています。中村センター長は今年のノーベル賞受賞者について触れ「寄贈した本を読んで科学に興味を持ち、ノーベル賞を受賞するなど活躍する人が出てくれれば」と話されました。

秋の収穫祭

11月3日、花立山の麓の城山公園で「花立山く秋の収穫祭」が行われました。朝から雨が降るなどあいにくの天候でしたが、早朝から詰めかけた来場者は、採れたての野菜や加工食品などを熱心に品定めし購入していました。また、木工教室やイモ掘りが行われ、親子が協力する姿も見られ、親子のふれあいの場となっていました。



米と大豆を丸ごといただきました



11月1日、総合保健福祉センター「あすてらす」で筑後スローフードフェスタ2008の地域イベント「豆バリ!!グル米ツ祭II」が開催されました。今年のイベントは、親子で作る巻きずし体験や味噌づくり、豆腐づくりなどが行われました。また、バイキングでは、県内でも上位の生産高を誇る大豆を使ったハンバーグなどが並びました。参加者も満足の1日でした。